

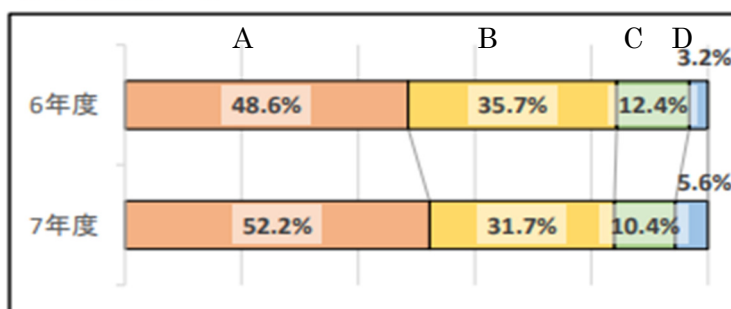
令和7年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和7年度全児童にアンケートを行ったところ、「外国語・外国語活動の授業や E タイムの DVD を見るのは楽しいですか」という質問に対し、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の 83.9% だった。このことからおよそその児童が英語の学習を楽しんでいると言える。

【資料1】児童のアンケート結果

8. 外国語・外国語活動の授業やEタイムのDVDを見るのは楽しい。



(教育診断アンケートの内容)

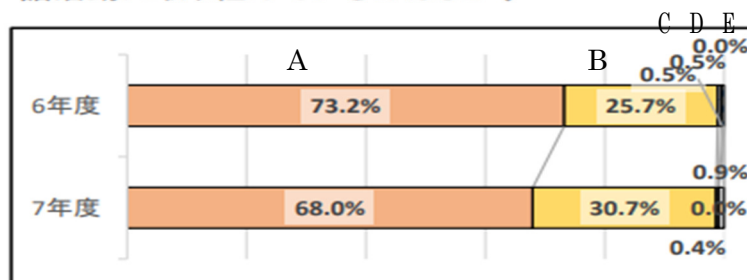
- A: そのとおり
- B: まあまあそうだ
- C: あまりそう思わない
- D: 全然思わない

2 学校関係者評価結果

令和7年度に行った保護者向けのアンケートでは、「外国語の授業や E タイムの DVD 視聴など、外国語活動に取り組んでいるのはよい」という質問に対し、「その通り」「まあまあそうだ」という回答をした保護者は、全体の 98.7% という数値となった。このことから、概ね好意的だと受け取れる。

【資料2】保護者のアンケート結果

16. 外国語の授業やEタイムのDVD視聴など、外国語活動に取り組んでいるのはよい。



(教育診断アンケートの内容)

- A: そのとおり
- B: まあまあそうだ
- C: あまりそう思わない
- D: 全然思わない
- E: わからない

3 まとめ

資料1から、児童は日々のDVD視聴を通じて英語に慣れ親しむことができていることがわかる。本校では、年間を通じて低学年で10回程度ALTとの英語の授業を設定しており、簡単な挨拶や言葉等を遊びながら学び英語に親しむ機会となっている。また、資料2から、保護者は、外国語活動に対して概ね好意的ということが言える。

英語活動を通じて、言語だけでなく文化についても児童が体験的に学習することで、異文化への理解を深めて自分の考えや気持ちなどを伝えたいという思いが高まるような活動を取り入れたい。そして、身近なことを話したり相手の発話に反応したりしながらコミュニケーションが図れる資質の育成を目指したい。